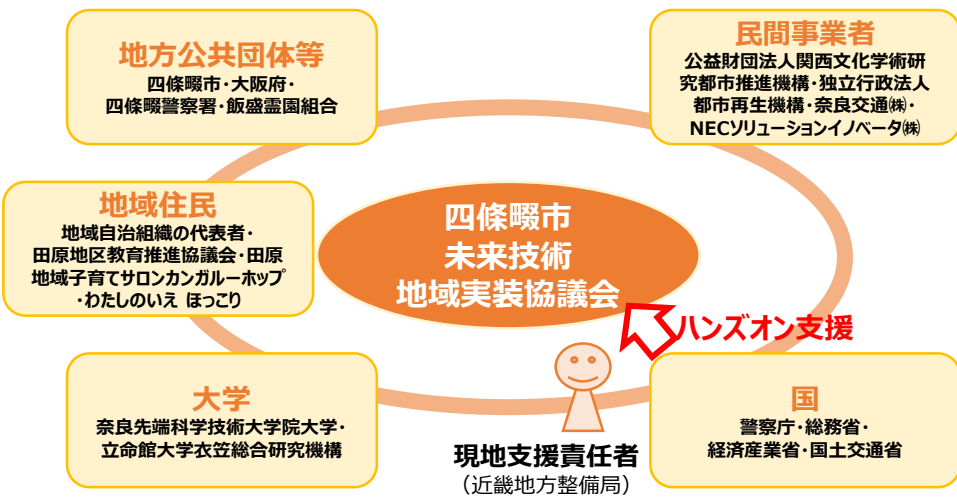


課題

- 本市の東部地域にある田原地区は既存集落と、街びらきから30年経過したニュータウン。住民の高齢化がはじまっており、駅のある西部地域へは山間部にあるトンネルを車で移動する必要がある  
運転免許返納等による不安があり**公共交通手段の確保・維持**や**買い物に関する不便解消**が必要
- 住みよい「顔の見えるコミュニティ形成」を維持させるため、新たな視点による**地域社会における住みよさの持続化**が必要

推進体制



課題解決に向けた取組

- **ICT等**生活や経済活動の利便性を向上させうる新たな技術を巧みに活用しつつ、産官学と住民・地域コミュニティが参加・活動して、よりよい地域社会、住みよい環境をデータドリブンで創り上げていく、最適なまちづくりを進めているまち

自動運転車の導入・運行

- ・**誘導型自動運転車、自律型自動運転車（レベル4）**を導入し、コミュニティバスとして運用

買い物・配送支援

- ・**Tele Presenceロボットとドローン**等、及び**UI対応のSet Top Box**により、在宅でのリアルな買い物感覚による買い物と近隣集積地までの自動配送を実現

都市OS整備・運用とSandBox利活用支援

- ・**自動運転**やまちづくりに必要な**都市OS**を整備し、地域社会の課題解決や新たな企業サービス・住民サービス展開に向けた**SandBoxの利活用**推進を図る

2021年度の  
主な取組

- スマートシティフォーラムにおいて小学校校庭で市民向けの「**自動運転のデモンストレーション**」の実施
- 自動運転実証実験予定のルートや車両の妥当性を検証するため手動「**ゆっくりカート乗車体験**」の実施
- ICT技術を活用した買い物支援実証実験、認知症初期集中支援サポート実証実験
- IoT技術を活用した罨センサー及びAI・IoT技術を活用した桜の開花予測の実証実験の実施

## 取組内容

(写真・図：四條畷市提供)

## 罨センサー実証実験（2021年9月～）、桜の開花予想の実証実験（2021年11月）

## 罨センサー実証実験

農業作物の被害の軽減を目的に設置したイノシシの箱罨にIoTセンサー（LPWA）を設置。イノシシが箱罨に入り扉が閉まれば、事前に登録した地域有害鳥獣駆除対策協議会のスマートフォンに連絡が入る仕組みを構築し、センサーを取り付け



## AI・IoT技術を活用し桜の開花予想実証実験

気象センサー、撮影カメラを設置し、気温や、湿度、雨量などのデータを取得。取得したデータや画像を人工知能に学ばせ桜の木々の状態を確認し桜の開花を予測する実証実験を実施



## 取組内容

(写真・図：四條畷市提供)

## 買い物支援実証実験（2021年7月1日～11月30日）

- 高齢者が自宅にいながら、商業施設の商品を確認し、商品を購入することが可能か実証実験を行った
  - 1 買い物支援に対するニーズの把握と課題把握
  - 2 買い物支援に関する実用的な知識や手法の整理
  - 3 遠隔で代理購入ができる環境（ビデオ通話）と評価（利用者の操作レベル）等

## ➤ 実証実験の状況

買い物購入期間：7月1日～11月30日

実施回数：44回

平均重量：3.53kg、総重量155.171kg

購入金額：平均1947円/回、総金額85,660円



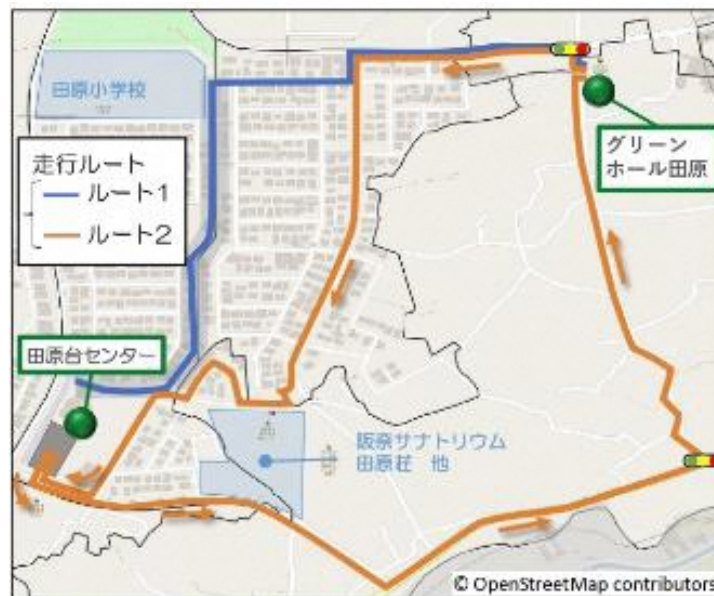


取組内容

(写真・図：四條畷市提供)

ゆっくりカート乗車体験（2021年10月17日～10月31日）

- 令和4年度に実施予定の実証実験の車両及びルートを検討を行うため、地域住民に対して自動運転車両導入に向けた理解醸成を図り、車両やルートの妥当性を検討するため、実験車両を**手動で公道走行**を実施
- ルート概要  
令和2年度に実施した地域内移動に関するアンケートから、拠点となるグリーンホール田原台センターを結ぶ2ルートを設定
  - ・ルート1 人口が密集する住宅地を通過し自動車から分離された歩行者専用道路を通過する往復ルート
  - ・ルート2 人口が密集する住宅地と高齢化が進展している上田原地区から医療介護施設を通過する循環ルート
- 1日6往復運航 ドライバーは2種免許所有者、15日間で158人が乗車体験



ゆっくりカート

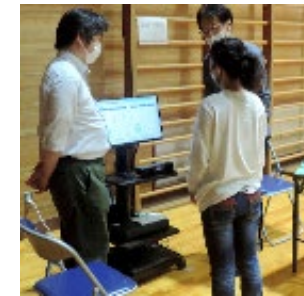
ゆっくりカートとは  
電動ランドカー（ヤマハ発動機製）をベースに名古屋大学が開発したもので、誘導線方式ではない、公道を走行できる日本初の自動運転カート

取組内容

(写真・図：四條畷市提供)

第3回四條畷市スマートシティフォーラムでの自動運転デモンストレーション他（2021年10月16日）

- AI・IoTの技術を活用し地域課題を解決するスマートシティの取り組みについて、地域住民に対しての理解と機運の醸成を目的とし、第3回四條畷市スマートシティフォーラムを開催した
- 「新たなモビリティと健康」をテーマに市立田原小学校を会場に第1部では、地域や学校、河内長野市南花台での取り組みとフレイル予防と健康体操の講演。第2部では「自動運転車のデモンストレーション」「買い物支援の技術紹介」「歩行姿勢測定システム」「電動車いすの乗車体験」「電動アシスト自転車試乗体験」等の紹介及びデモンストレーションを行った



自動運転車デモンストレーション

## 取組内容

(写真・図：四條畷市提供)

## 認知症初期集中支援サポート（2021年4月1日～9月15日）

- ICT機器を活用した認知症初期集中支援サポートにおける実証実験  
対象者と対象家族の承諾のうえ、チーム員が訪問状況をオンラインで専門医が確認し、認知症の早期発見につなげる

## 「主なメリット」

- ・ 訪問時の状況をリアルタイムで専門医が確認・サポート
- ・ 以降、訪問担当からの情報共有等の作業を短縮
- ・ 認識の齟齬や状態の伝え漏れなどを軽減

## 御宅訪問時

